



にこにこだより

令和5年度 10月

社会福祉法人東京児童協会 船堀中央保育園

〒134-0091 江戸川区船堀 2-23-10

TEL 3680-1441 FAX 3680-1618

「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」など、『〇〇の秋』という言葉がありますね。子どもたちと共に今年の秋は『どんな秋』を過ごしていこうか楽しみです。また、秋というと1年の折返し地点となります。子どもたちの成長には日々驚くばかりです。子どもたちがよりのびのびと成長できる環境を整えていきたいと思えます。

<3R 推進月間>

10月は3R 推進月間とされています。

『3R』とは…《Reduce (リデュース) =ごみの発生を減らす》

《Reuse (リユース) =くり返し使う》

《Recycle (リサイクル) =資源を再生利用する》

を意味しているとのこと。環境保護は今に生きる私たちのため、そして未来を生きる人たちのために取り組まなければなりません。子どもたちにも日常の園生活のなかで、環境問題について伝えられる機会を見極めながら伝えていきたいと思えます。

法人では子どもの未来と地域の持続的な成長を支援するため、地域の社会や環境課題に取り組み、社会及び福祉の発展に貢献していくことを宣言しています。 ※園玄関に掲示しています。

社会福祉法人東京児童協会
SDGs 宣言

社会福祉法人東京児童協会は、国連において採択されたSDGs(持続可能な開発目標)を踏まえ、子どもの未来と地域の持続的な成長を支援するため、次にかかげる地域の社会・環境課題に取り組み社会及び福祉の発展に貢献していくことを宣言します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【取り組む重点項目】

子どもの未来 『創造×継承』

- 未来を生きる子どものために、すべての人が子どもにも最大限の関心を持ち、育ちを支えられる社会の構築に貢献します。
- ダイバーシティ・無差別的な社会を築いた教育保育を実施します。
- 異質を尊重し受け入れられない教育保育の確かなるよう努めます。
- スポーツの教育を通じ、健康的な発達を促します。
- 食・山・川の教育に特化し、自然と人間の関係を学びます。
- 新しい時代を担い、思いやりを育む教育を実施します。
- 未来の子どもたちにも残せる、環境教育を実施します。

子どもの生きる力 『教育保育×革新』

- 教育保育をすべての人が必要な時に受けられるよう、教育保育施設を整備、拡充していきます。
- 従来の概念に捉われない自由な発達の教育保育を拡充し、一人ひとりの子どもの持つ可能性を最大限に育てます。
- ダイバーシティ推進のため、多様な困難に陥る機会を多くもち、異質の受け入れ、高度な困難を克服していきます。
- 人材を尊重し、心身の健やかな成長と豊かな心を育みます。
- 自然や食へ関心を持ってもらうよう努めます。
- 子どもの成長を支援する関係者の協働と連携を拡充します。

子どもの生活 『社会×繋がり』

- 社会福祉法人の特性を活かし、持続可能な社会に向けた社会貢献活動を積極的に進めます。
- 協賛者、ご多蒙の子どもが大人になっても地域に愛着が持てるよう地域を盛り上げます。
- 地域のコミュニティ(子育て)の拠点となり、地域人を繋ぎます。
- 伝統文化に陥る機会をつくり、未来に繋げる活動を行います。

<仮園舎について>



着々と仮園舎の施工が進み、外装および内装がほぼ整いました。これから園舎内外の整備を園が行っていく段階となりました。仮設の園舎になるとより全園児が兄弟のように、常に顔を合わせられることはひとつの魅力ではありますが、屋上や園庭はないため、近隣の公園に積極的に出かけ子どもたちが充実した日々を送れるように努めていきたいと思えます。

住所が決定いたしましたので、お知らせします。

〒134-0091

東京都江戸川区船堀 4-2-7 となります。

<4年ぶりのおかえりなさい>

「6年生と20歳を祝う会」を4年ぶりに開催しました。毎年、3月に卒園児を対象に園に招待し、成長を喜び合う会を開催しています。感染症拡大防止の観点でここ近年、開催できなかったため6学年分の卒園児にお声がけしたところ、60名以上の帰ってきてくれました。中学生や大学生、社会人になった姿に会えたことだけでなく、和気あいあいと園の思い出を語り合う様子は、とても微笑ましい光景でした。また、園舎の建て替えに伴い、園内の壁などに思い出や将来の夢を書き綴ってくれました。園舎内が賑やかになっていきますが、ご了承くださいませ。



お知らせ・お願い

- 出欠確認について
 - ・区よりお子さんの出欠確認の徹底をするよう再度、区内保育園向けに一斉指導がありました。欠席連絡はkindy「保護者からのお知らせ」をご活用ください。
- 仮園舎へ向けた支度方法について
 - ・先月のお便りにて支度方法を全クラス変更とお知らせいたしましたが、**幼児クラスのみ**の変更とさせていただきます。
 - ・幼児クラスのご家庭は別紙参照ください。
- 登降園の際のお願い
 - ・園内では家庭から持ち込んだ食べ物を食べないこと。また口に含まれたまま登園することはお控えください。
 - ・仮園舎への移転に伴い、登降園時間の変更がある際には、事前にお伝えください。
- 夏服から秋服への衣替えをお願いします。日中は汗をかいて遊ぶこともあるため、子どもたち自身で衣服の調整ができるような衣服を選ぶなどのご配慮をお願いします。また、衣服の『記名の確認』も併せてお願いします。



10月の行事予定

- | | |
|-----|---|
| 2日 | 身体測定（幼児） |
| 3日 | 身体測定（乳児） |
| 4日 | 異文化交流（幼児） |
| 5日 | 0歳児・幼児健診 |
| 11日 | 異文化交流（幼児） スポーツプロジェクト（5歳児） 第三者評価訪問調査 |
| 12日 | 育児相談（希望者） |
| 18日 | 造形（5歳児） |
| 25日 | 体育指導（幼児） はいチーズ日常撮影 |
| 26日 | 乳児健診 |
| 28日 | 懇談会（仮園舎見学） |
- 表記について
乳児…0.1.2 歳児クラス/幼児…3.4.5 歳児クラス
 - 業者による日常の園生活や活動の写真を撮影し販売します。詳細や認証キーは手紙をご覧ください。



懇談会について



【日付】

▶10月28日（土）

【内容】

- ▶仮園舎の見学
- ▶仮園舎での過ごし方や約束事・お願い等につきましては、後日動画で配信いたします

【お願い】

- ▶車や自転車でのご来園はお控えください
- ▶混雑緩和のため、3部制にさせていただきます
- ▶お子様の生まれ月でグループ分けされていますのでご確認のうえご来園ください
(ごきょうだいがいらっしゃる場合は、下のお子様に合わせてください)

【時間】

- ① 13:30~13:45
(1月・3月・4月・9月生まれ)
- ② 14:00~14:15
(2月・5月・8月・11月生まれ)
- ③ 14:30~14:45
(6月・7月・10月・12月生まれ)

【場所】

船堀中央保育園 仮園舎（江戸川区船堀 4-2-7）

※直接現地にお越しください

【参加について】

- ▶参加人数確認のため、こちらのQRコードよりフォームにご回答ください
締め切り 10月16日（金）

※当日やむを得ず参加できない方のみ、別日で見学会を行うことも検討しております





保育ページ



9月の様子・10月の目標

0歳児クラス あひる組



<先月の様子>

園庭ではスコップやカップに砂をすくったりをひっくり返したり、落ち葉をちぎったりして様々な感触を楽しんでいます。また仮園舎横の広場に散歩に出掛けました。初めての場所に始めは「どこだろう?」と様子を見ている姿もありましたが、遊びに誘うと、シャボン玉を追いかけたり、ボールを投げたりと、たくさん体を動かして遊んでいました。

<目標>

- まつぼっくりや落ち葉などの自然物に興味をもつ
- 気温や個々の様子に合わせた衣服を着用し快適に過ごせるようにする

<お楽しみ>

- サーキット遊びやリズム体操を行い体を動かそう
- 散歩や戶外遊びを通して落ち葉や木の実などの秋の自然に触れてみよう

1歳児クラス うさぎ組



<先月の様子>

最近では意欲的に食器に手を添え上手持ちで食具を持ち食べる姿が増えてきています。「ごはんおいしいねー」「おさかなはいってるよ!」などと保育者や友達に伝え、楽しい雰囲気の中で食事をしています。制作ではタンポを押してきのこを作りました。台紙に絵の具の模様がつくと「ついた」喜び、飾った作品の中から「〇〇ちゃんのあった」「いっぱいつけたよ」と、自分の作品を見つけて嬉しそうな様子でした。

<目標>

- 気候の変化に留意し、様子や体調の変化に合わせて健康に過ごせるようにする
- 秋の自然に親しみをもつ

<お楽しみ>

- 戶外に出て秋の自然を探そう
(散歩、虫探し等)
- ちぎり絵を通し遊びの中から指先の力をつけよう(かぼちゃのちぎり絵)

2歳児クラス ひよこ組



<先月の様子>

お月見団子の制作では、のりをすくい「やわらかい、つめたい」など感触を楽しみながら月見台に貼ると「できた」と完成を喜んでいました。園庭ではバケツに砂と水を入れスコップで混ぜ料理を楽しんでいます。保育者が「何作ってるの?」と問い掛けると「ちょこれーと」「かれーらいすからいよ」と嬉しそうに教えてくれます。盛りつけると「どうぞ」と友達や保育者に渡し関わりを楽しむ姿も見られました。

<目標>

- 衣服の前後を気にしながら自分で着替えることができるようにする
- 秋の季節を感じながら、友だちと手を繋いで歩くことを楽しむ

<お楽しみ>

- 保育者や友達と一緒に手を繋ぎ、船堀公園や新川沿い等、散歩に出かけ秋の季節を感じよう
- サーキット遊びやリズム体操を通して跳んだりぶら下がったりなど、様々な体の動かし方を知ろう

3歳児 はな組・4歳児 ほし組・5歳児 つき組

<先月の様子>



屋上でボディペインティングをしました。「このいろにする!」「ピンクがいいな!」と好きな色を選び、手にたくさんの絵の具をつけて模造紙に手形を付けています。2、3色の絵の具を混ぜて色の変化を楽しみ、顔や体に絵の具をつけてダイナミックに表現をしています。制作では折り紙の栗と、はさみで切った栗を画用紙に貼りました。「えんていに、おちてたよ!」「とげとげしてた!」などと友達と話す姿が見られました。



折り紙できのこ、どんぐりの制作をしています。角と角を合わせることを意識し、指先の力や形の認識を養えるようにしています。作りながら「どんぐりは、こうえんでみつけたよ!」など秋の自然について友達と話す姿も見られました。今年度初めての「和太鼓」に触れています。大太鼓、吊り太鼓、中太鼓など様々な種類の太鼓の名前を覚えたり「ぶ!ど!う!」の掛け声に合わせて太鼓を叩いたりしました。覚えたりズムを音楽に合わせて叩くと「できたよ!」と嬉しそうにしていました。これからも少しずつ太鼓に触れる機会を設けられたらと思います。



スポーツプロジェクトではチアリーディングをしています。「チアってどんなダンスかな」「おうえんするときのダンス?」など期待を膨らませていました。ポンポンを持ち、講師と一緒にリズムに合わせて体を動かしたり「みんなでいっしょにレッツゴーチア!」と声を掛けながら踊ったりすることを楽しみました。造形ではローラーや筆で、とびだすきのこを作りました。紐を引っ張るときのこが飛び出る仕掛けになっており、「こんなにたかくとばせるよ!」などと友達と作った作品で遊ぶ楽しさを味わっています。

<目標>

- 季節の移り変わりを感じ、気候に応じた衣服の調節をしよう
- 秋の自然の発見を楽しもう

<お楽しみ>

- 散歩先で体をたくさん動かし、秋の自然を見つけよう!
- 秋空ランチを楽しもう!

<子どもの目標>

戸外で体を動かして遊ぼう!





保健ページ



夏の暑さもおさまり、秋らしくなってきました。季節の変わり目で朝夕冷え込む日がでてきます。体調を崩さないように衣服の調節や、秋が旬の栄養豊富な食べ物を食べて風邪に負けないようにしましょう



先月の様子

～健康教育～ 「救急の話」

花・星組を対象に9月9日『救急の日』にちなんで「救急の話」をしました。救急車や消防車の役割について、またケガをした時の対応などについて話しています。「ぶつけたときは冷やすんだよ」など知っていることを積極的に発言する姿がみられました。



～いのちキラキラ～ 「プライベートゾーンのお話」

月組を対象に法人看護師「いのちキラキラチーム」による健康教育を行いました。

パペット劇やクイズ、絵本、映像を使い、自分の身体は自分のものであり自分の身体も気持ちも大切であることを伝えました。「やさしいきもちになった」「ほっとした」などの感想がたくさんありました。



お知らせ・お願い

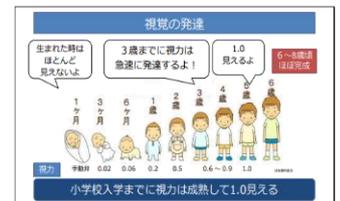
■目の愛護デーについて

私たちは目に映し出された映像の情報を脳に伝えモノを見ています。ピントが合った映像信号を、脳に伝えることで自然と脳が発達してモノを見る機能が発達していきます。「見える」とは「脳が刺激を受けて発達すること」です。視力や立体的にモノを見る機能は「くっきり見る」ことで6歳頃までに成熟します。

～日常生活にできること～

◎POINT◎

- ①外遊びをしましょう。
- ②近くを見る作業（読書、スマートフォン・ゲーム）は目に負担がかかります。休みながら行いましょう。
- ③室内では明るい環境で遊びましょう。
- ④質のよい睡眠をとりましょう。
よく眠るため、日中に光を浴び、夜は光を落としていくなど生活リズムを整えましょう。
スマートフォン、ゲーム機などの画面から出ているブルーライトは「体を目覚めさせる」働きがあるとされています。



出典：日本眼科医会

■インフルエンザワクチン・新型コロナワクチンについて

今年はインフルエンザが年間通して流行期ようです。早めの予防接種をお勧めします。また、新型コロナワクチンの秋接種も開始されました。

- ▶2023年9月20日～2024年3月31日で無料の接種期間は終了となります。
- ▶生後6か月以降より接種可能。前回接種より3か月以上経過が条件です。
(詳細は江戸川区ホームページをご確認ください)

■感染症について

9月中旬より地域でもアデノウィルスによる咽頭結膜熱(プール熱)、インフルエンザが流行しています。早期発見、早期受診をお勧めします。

【アデノウィルスによる咽頭結膜熱(プール熱)】

- ▶診断された場合は医師による「意見書」の提出が必要となります。
- ▶熱が上がったり下がったりする、または結膜炎症状のみという報告があります。

【インフルエンザ】

- ▶診断された場合は「季節性インフルエンザ診断報告書・登園報告書」の提出が必要となります。
- ▶高熱、咳、鼻水などの上気道の症状のほかに、嘔吐、下痢などの消化器症状が生じることもあります。



給食ページ



9月の食育の様子



～おはぎづくり～

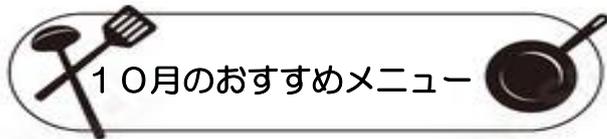
幼児クラスのおやつでは、おはぎの簡単なクッキングをしています。きな粉とあんこのどちらかを選んでサララップに包み、丸めて成形することを楽しみました。



～きのこ割り～

1歳児クラスうさぎ組で、きのこ割りクッキングをしました。お家や園の給食で食べたことのあるきのこをじっくり見たり、匂いを感じたりという体験だけでなく、きのこを指先で割いてみる経験をしました。

その日の給食に入っていたきのこをみんな嬉しそうに食べていました。



10月のおすすめメニュー

さつまいは品種がたくさんあります。様々なさつまいで味くらべてみるのはいかがでしょうか？
ぜひご家庭でも作ってみてください。

～さつまいプリン～



【材料】ゼリーカップ2個分

- ・さつまい 150g
- ・牛乳 200g
- ・グラニュー糖 大さじ1
- ・粉ゼラチン 3g
- ・水（ゼラチン用） 大さじ2
- ・メープルシロップ 小さじ1

【作り方】

- ① 皮をむいたさつまいを一口大に切り、水にさらしておく。ゼラチンは分量の水でふやかしておく
- ② 鍋にさつまいと水を入れ茹でる。
- ③ やわらかくなったらお湯を切り、さつまいを潰し砂糖を加えてさつまいの粒がなくなるよう練るように混ぜる。ゼラチンは溶かしておく。
※ミキサーを使用したり、裏ごしをするとなめらかに仕上がります。
- ④ 牛乳を少量ずつ加え、都度なじませるようによく混ぜる。溶かしたゼラチンを加え混ぜ、器に注ぎ冷蔵庫で冷やし固める。
- ⑤ メープルシロップをかけて出来上がり。



家庭でできる食育



いろいろな種類のきのこに触れてみよう



エリンギ、舞茸、しめじ、えのき、しいたけなどきのこはたくさんの種類があり、いろいろな料理に使われています。きのこを割くことで、何気なく食べているきのこの不思議な形、香りをしっかりと観察することが出来ます。実際に自分の手で触れ、香りを感じる体験が食への興味を持つきっかけになります。

ぜひご家庭でも一緒にきのこに触れてみてはいかがでしょうか。